

作成日 2025 年 1 月 16 日
(最終更新日 2025 年 2 月 21 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 38017

課題名 : 二次データを用いた、災害関連死の長期的影響調査-宮城県内の脳卒中・心筋梗塞発症に関する疫学研究

1. 研究の対象

2007年1月～2019年12月に宮城県内の医療機関に脳卒中で入院したされた方
2011年1月～2020年12月に宮城県内の医療機関に心筋梗塞で入院された方

2. 研究期間

2025 年 2 月 (研究実施許可日) ～2027 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 該当なし

提供開始予定日 : 2025 年 3 月 1 日

4. 研究目的

災害関連死についての長期的な影響を探るために、宮城県内の心筋梗塞及び脳卒中の災害前後及び長期的な経過を解析する。

5. 研究方法

自然災害に伴う、超過死亡及び宮城県対脳卒中協会及び宮城県心筋梗塞対策協議会では継続して、宮城県内の協力医療機関より脳卒中及び心筋梗塞の発症者の情報を収集してデータベースを作成し、患者数の推移等の統計の作成を行っている。本研究では、この脳卒中・心筋梗塞患者の発症データを用いた、二次データの解析による研究である。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

宮城県心筋梗塞対策協議会より提供される各医療機関での心筋梗塞発症者の登録情報データ。

心筋梗塞にり患し2011年～2020年に宮城県内の医療機関から報告された者
・発症日 ・入院日 (月単位) ・年齢 ・性別

7. 外部への試料・情報の提供

情報は個人が特定できるような個人情報に含まれていないが、電子的配信により東北大学大学院歯学研究科 (研究実施機関) へ提供します。

8. 研究組織

東北大学単独研究

既存試料・情報の提供のみを行う機関
宮城県心筋梗塞対策協議会

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

使用する研究費は厚労労働省科学研究費補助金「令和時代の自然災害と健康危機管理：WHOの研究手法ガイダンスを見据えた研究推進（24LA2001）」です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当研究における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学大学院歯学研究科 草間 太郎

住所：宮城県仙台市青葉区星陵町4-1

連絡先：022-717-7639

taro.kusama.a2@tohoku.ac.jp

当研究の研究責任者：東北大学大学院歯学研究科 小坂 健